

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

岐南町青少年育成町民会議

岐南町 「それぞれの校区の特色を生かした青少年育成活動」

6月17日（土）第45回少年の主張発表会

町内3小学校の6年生児童3名、岐南中学校3年生生徒6名の合計9名が主張を発表した。自身の経験や社会の中で課題となっていること、将来の夢にむかって実践していることなどのテーマで発表した。児童生徒たちならではの感性で、社会的事象についてとらえ、自分の言葉で語り、会場の大人たちも心をうたれたようだった。また、令和4年度文部科学省で行われた「全国いじめ問題子供サミット」に参加した岐南中学校生徒の発表も行った。

9月16日（土）北小学校「けやき祭り」

サイエンス工作や科学実験、JAによる花の苗植え活動、昔遊び体験教室など、児童が様々な体験学習を行う、地域学校協働活動である。今年度は、中学生ボランティアが講座サポーターとして参加した。卒業生が活躍することで、「私たちも中学生になったら、小学校にボランティアとして帰ってきたい。」という意識をつなぐことができた。また、JAによる花の苗植えは、保護者も協力して行い、学校、家庭、地域が一体となった活動となった。



10月28日（土）東小学校「Autumn Festival In Higashi2023」

地元で活躍する文化芸術団体が東小学校の体育館にて5・6年生児童に活動を披露した。岐南町伏屋獅子舞保存会の道行から始まり、岐南中学校吹奏楽部、太鼓、管弦四重奏が演技を披露した。管弦四重奏は、学校運営協議会が推薦した団体で、音楽科の学習で取り上げられる楽曲を演奏した。参加した児童は、「地元で頑張っている人がこんなにもいるなんて知らなかった」との声もあった。



11月19日（日）西小学校「150ふれあいお餅つき大会2023」

コロナ禍を経て、4年ぶりにもちつき大会を開催した。青少年育成町民会議が中心となり、自治会、PTA役員、PTAOB、中学生ボランティアなどが参加した。小学生がもちつき体験をするだけでなく、大人が楽しそうにもちをつく姿を、子どもたちに見せることが、次世代の育成になり、世代循環につながると考える。町内の様々な立場の大人が、イベントに参加することで、学校を核にした地域づくりのきっかけとなった。



2月下旬から町内3小学校と岐南中学校で卒業式や入学式の会場や花道を彩るために実施した。

西小学校では、事前にPTAOBや青少年育成推進員が集まり、プランターや培養土を校内に運び入れたり、花壇の土の入れ替えをしたりして、児童が活動しやすいように準備を進めた。参加した児童生徒からは、「学校がきれいに彩られていくのがうれしい」との声があがった。

町内の3小学校区それぞれに特色はあるが、共通するのは、地域住民のエネルギーである。青少年を健全に育成するために、様々な立場の大人が集い、青少年にアプローチをしている。今後も、形をかえながら実施していく。